

太陽光発電システム用配線用遮断器

3P・2E・50AF	3P・2E・60AF
100/200V	100/200V
BU-53・1KAS	BU-63・1KAS
太陽電池側配線用遮断器単2連系用(注・1)	
検知器保護用マイクロスイッチ付	
30A BU5301KAS30V	60A BU6301KAS60V
40A BU5301KAS40V	
50A BU5301KAS50V	
8,400	9,100
分電盤協約形サイズ (過電圧検出リード線付)	分電盤協約形サイズ (過電圧検出リード線付)
NEW A 98(112) B 75 C 60 D 80	NEW A 98(112) B 75 C 60 D 80
2.5	2.5
線押え方式(圧着端子使用可能)	
22	22
—	—
—	—
—(注・2)	—(注・2)
—(注・2)	—(注・2)
—	—
可能(縦形)	可能(縦形)
付 属	付 属
別売(RC-KA)	別売(RC-KA)
—	—
—	—
付 属	付 属
—	—
熱動電磁	熱動電磁
0.43	0.44
1	1
P.201 ²⁷ 、P.118 ⁶²	P.201 ²⁸ 、P.118 ⁶²

■(注・1) 単3連係の場合は、分電盤協約形サイズ配線用遮断器B-53KA(3P・3E・50AF)・B-63KA(3P・3E・60AF)をお使いください。
■(注・2) 補助スイッチ、警報スイッチの組込は一般仕様では用意していません。

資料

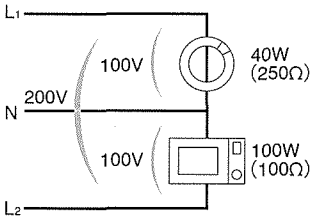
単3中性線欠相保護付配線用遮断器

最近、家庭においても使用される電気製品の数も増え、平均使用電力量も増加しています。
単相3線式回路において中性線が何らかの原因で欠相状態になりますと、その回路の負荷状態において電圧が不平衡となり負荷機器に過電圧が加わり負荷機器の焼損、絶縁劣化などの事故を生ずることがあります。
テンパールの単3中性線欠相保護付配線用遮断器はJIS C-8371に準拠して製作しています。

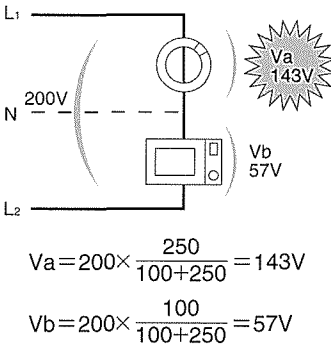
JIS C-8371	定格動作過電圧	135V
	定格不動作電圧	120V以上
	定格過電圧動作時間	1秒以内

中性線欠相

例えば、図の様に、中性線欠相が起った場合100Wの負荷機器に57V、40Wの負荷機器に143Vの過電圧が加わるようになります。この過電圧により負荷機器の寿命が短くなったり焼損してしまいます。

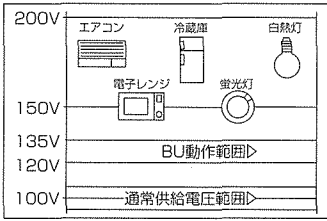


中性線欠相



過電圧による負荷機器への影響

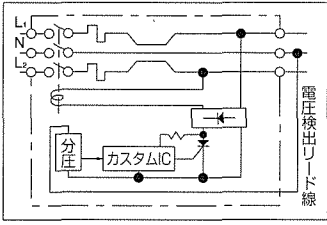
図は過電圧により負荷機器が焼損、絶縁劣化、寿命が短くなる等影響がでる電圧を表しています。(参考)



1秒間過電圧を印加した場合の実験値でメーカー、種類により異なります。

動作概要

中性線欠相により発生した過電圧を中極に接続された分圧回路でピックアップし、カスタムIC内の過電圧検出ブロック内で検出します。その信号を論理回路を経由させ遮断器の引外し用トリップコイルを働かせます。



絶縁測定について

過電圧検出の回路構成上、絶縁測定に際しご注意ください。遮断器に貼ってあります注意シールにもとづき絶縁測定してください。